

f

7

小論文

学 類	ページ	解答用 紙枚数	時 間
人 間 発 達 文 化 学 類	1～13	1 枚	120 分

注 意 事 項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけない。
2. この問題冊子は 13 ページある。印刷不鮮明の箇所などがある場合には、監督者に申し出ること。
3. 解答は指定の解答用紙に横書きで記入すること。
4. 解答用紙の指定欄には必ず受験番号を記入すること。
5. 解答用紙の評点欄には何も記入しないこと。
6. 解答用紙は持ち帰らないこと。

問題文訂正

小論文

該当箇所	1 ページ 下から 2 行目
誤	行動の具体的な実践例
正	行動の具体的な実践例

該当箇所	5 ページ 下から 1 行目
誤	こうした省察できる人々
正	こうした省察ができる人々

該当箇所	10 ページ 上から 1 行目
誤	新型コロナウイルスは、一本鎖の DNA をもつウイルスで、二本鎖の DNA をもつタイプ (SARS など) と比べて変異しやすいとされています。
正	新型コロナウイルスは、一本鎖の DNA をもつウイルスで、二本鎖の DNA をもつタイプ (SARS など) と比べて変異しやすいとされています。*

追加箇所	13 ページ 最終行
正	* 科学用語については出典資料のまま

人間発達文化学類

- (注意) ・解答は指定された解答欄に横書きで記入し、字数は指定を超えないこと。
- ・解答用紙は1行が20字、全部で1,200字となっている。
 - ・解答の際、句読点、引用符、カッコなどはいずれも1字に数える。
 - ・ただし、行末の句読点などは字数に含まれないものとする。

次ページ以下の〈資料〉は、内田伸子著『想像力 生きる力の源をさぐる』(春秋社、2023年)の一部である(ただし、出題にあたり原文の一部を変えている)。

この文章を読んで、以下の問いに答えなさい。

- 問 1 下線部①「創造的な想像力に潜む暗い面」について、本文に基づき、300字以内で説明しなさい。
- 問 2 下線部②「メタ的想像力」とはどのような能力か。またなぜその能力が重要なのか。著者の挙げている例を参考にしつつ300字以内で説明しなさい。
- 問 3 下線部③について、「創造した表象を光と影の両面から照らしてみる」とはどういうことか? この意味を明らかにしつつ、自分が現在直面している、あるいは将来直面するかもしれない「危機的状況」において、「表象を光と影の両面から照らす」行動の具体的な実践例、あるいは見聞した事例について600字以内で述べなさい。

この部分に記載されて
いる文章について問
は、著作権法等のこ
題から公表するの
ができませぬので
了承願います。

この部分に記載されている文章には、著作権法上の問題が生じる可能性があります。この部分に記載されている文章には、著作権法上の問題が生じる可能性があります。

この部分に記載されている文章には、著作権法上の問題が生じる可能性があります。この部分に記載されている文章には、著作権法上の問題が生じる可能性があります。

この部分に記載されている文章には、著作権法に基づいては、著作権が公けられたことと、この問題が承継されたいです。

この部分に記載されて
いる文章には、著作権
法上の問題から公表
することができま
せんのでご了承願
います。

この部分に記載されて
いる文章には、著作権
法上の問題から公表
することをご了承願
います。

この部分に記載されている文章には、著作権法に基づいては、著作権が公表され、このことをご承知願います。

この部分に記載されている文章には、著作権法に基づいては、著作権が公にされたことと同等の問題があることをご承知願います。

この部分に記載されては、著作権法
等々の問題から公表でき
ます。この点をご承願
いたします。

この部分に記載されて
いる文章には、著作権
法上の問題から公表
するに当たって承
認を願います。

令和7年度入学試験 小論文「出題意図」

(入試情報公開用)

人間発達文化学類 一般選抜 後期日程

人間発達文化学類の以下のアドミッション・ポリシーを踏まえつつ、資料を与え、1,200字程度で論述させることにより、受験者の読解力・理解力・思考力・表現力を総合的に判断する。

人間発達文化学類では、生涯にわたる発達への支援や、人間の発達を支える社会・文化への支援を通じて、学校はもちろんのこと、行政や企業、地域社会で活躍することを目指す意欲を持ち、卒業までに次の4つの力を身に付けたいと考える学生を受け入れます。

- ・人間の発達を支援する教育および文化についての専門知識や技術を習得し活用する力
- ・現代的課題や地域的課題への問題意識をもち、個々の事象を複数の観点から捉える力
- ・人や文化の多様性を理解し、共感的態度をもって価値観や考え方の違いを超えた関係を築く力
- ・学問固有の問いの立て方、ものの見方・考え方を身に付け、それらを活用しつつ社会の改善に向けて探究し表現する力

具体的には、内田伸子著『想像力』（春秋社, 2023年）による資料を与え、人間発達を支援する際に必要な資質や適格性を総合的にみる。

問1及び問2では、資料を読み取り、その内容を説明させることによって、受験者の読解力・理解力をみる。

問3では、想像力の持つ正の面と負の面についての著者の見解を踏まえた上で、その内容を自らの経験、見聞、予測に基づいて考えさせ、その考えを論述させることにより、論理的な思考力と文章表現を総合的にみる。